

児童・生徒の学ぶ権利を保障し、その学び が等しく評価される不登校支援を目指して

東京都町田市議会 2021年3月 一般質問 諸派 矢口まゆ

令和元年10月、文科省通知をうけて、 町田市の不登校支援への提案

- 課題①フリースクールなど、どんな支援があるのか当事者やその親がすべて調べるのは大変。自分で情報をまとめるのが難しい。
→フリースクールの情報がまとまった一覧表の作成が必要。
- 課題②フリースクール等、学校外でのどのような学びを出席扱いとすべきなのか、具体的な基準がなくては校長も判断が難しい。また、フリースクールなどでも、その判断基準が見えた方が運営しやすい。
→出席扱いとするかの判断を行う際の目安を示したガイドラインを教育委員会にて作成すべき！
- 課題③学校や教育センター以外で学習していたり、教育的な支援を受けている児童生徒の状況を学校や教育センターでは把握できていない現状では、適切な支援もできない！
→フリースクールなどの民間施設、NPO等と積極的に情報交換をして、児童生徒を支援していこう！
- 新アイデア①現在は学校から教育センターの情報を児童生徒に提供するスキーム。一定以上の欠席がある児童生徒に対しては、教育センターから直接その児童生徒へアプローチする仕組みなども作れないか。連絡を待つのではなく、積極的にアプローチしていく教育センターへ！